

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスマーウエーズ		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20家庭21名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感を持って通所できている。	流れの中に自由時間、学習、プログラムなどメリハリがある 集団生活をしてもらっている。遊びにも積極的にスタッフが加わり、遊びや雑談の中で信頼関係を築くことが出来ている。	お子さまの流行を敏感に把握してそれを理解していく。 フラットかつ合理的な支援をしていく。 コミュニケーション面でユーモアや知識を持って接する。
2	プログラムの充実度	「コミュニケーション」「微細運動」「就労支援」の3つを月間目標としてローテーションし、 それに沿った内容のプログラムを考えるため固定化がない。 またあえて継続して取り組むイベント(ライススキルの練習、 マーウエーズ会議等)も行っている。	外部研修や社内研修でのプログラムの内容の勉強会や、 他施設と連携して情報交換などをして良いと思えるものは どんどん取り入れて満足してもらえるプログラムの質を上げていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が狭い、個別スペースがない	今後も利用人数やお子様の成長も伴って、 それを考慮した配置を考えていかなくてはいけない 騒がしい空間が苦手なお子さまもいるため配慮が必要	しっかりと静と動の時間を提示して メリハリがある集団生活をしてもらう。 グループ分けなどはそのお子さま同士の相性を考慮して組む。 玄関など使えるスペース等工夫してクールダウンスペースを確保する。 年齢、学年、特性に合わせたプログラムで班を分ける。 公園や、区民館など公共サービスを使用する。
2	施設からの情報伝達や浸透率が低い	日々の連絡はLINEでできているが、 活動内容等はHUGでのケア記録のみである。 防災マニュアルなどは教室HPに公開しているが、浸透率が低かった。	活動や創作物などはInstagramで発信していく。 HPでの各種マニュアルの情報公開や更新があった場合 しっかりと周知していく。
3			